

表紙エッセイ

日本の夫のジレンマ

土屋賢二 (お茶の水女子大学教授)

Essay

Japanese husband facing a dilemma

Kenji Tsuchiya (Professor, Ochanomizu Women's University)

読者から

教育実践レポート①コンピュータを利用した

新しい日本語学習の試み

ホームページの作成による日本語学習

氏家研一 (米国ノワシントン・アンド・リー大学

東洋学部日本語科助教授)

From Our Readers

Japanese Language Teaching Around the World

①New Attempt to Study Japanese Language with Computer(Cyberspace). Making Homepage in Japanese

Ken'ichi Ujie (Associate Professor of Japanese Dept. of East Asian Languages and Literatures, Washington and Lee University)

中・上級 新聞・雑誌から見る現代日本

第2回 社会貢献

本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。

Intermediate and advanced

Aspect of Japan Today in the Newspaper and Magazine

Contribution to Society

(This article is prohibited to appear on the web sight by copyright holder.)

特別報告

第10回 国際懇談会

「専門分野の日本語教育を考える 世界の外交官研修」

国際交流基金関西国際センター研修事業課

Special Report

The 10th International Colloquium

An Overview on Language Training Programs for Specialists

- Language Training Programs for Foreign-Service Officials among Nations

初・中級 写真で見る日本人の生活

食べ物 日本人が好きな料理

Beginning and intermediate

Japanese Life As Seen in Photographs

Food - Japanese Favorite Dish

初級 授業のヒント

日本人と話そう

Beginning

Hints For Teaching the Japanese-Language

Let's Talk with Japanese

本ばこ (新刊教材・図書紹介)

Book Shelf : Introduction of New Titles

国際交流基金開発教材紹介

『教科書を作ろう』

中等教育向け初級日本語素材集

Teaching Material Developed by the Japan Foundation

Publication of 『Kyookasho o Tsukuroo - Basic Resources for Secondary-Level Japanese “ Activities ” “ Grammar Notes ”』

海外日本語教育Q&A

本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。

Overseas Japanese-Language Education Q&A

(This article is prohibited to appear on the web sight by copyright holder.)

ニュース・編集部から

Miscellaneous News・From the Editors

マークは、読者が教えている生徒のレベルを示します。

mark indicates the level of students whom readers are teaching

読者から

私は韓国にある大田保健大学で、教養科目である日本語を教えている者です。

今年から国の方針で、日本文化が開放され、私どもの大学では、ほとんどの科で選択、教養、必修等で日本語の授業をすることになり、私一人で8科700人ぐらゐの学生に日本語を教えることになりました。

2年制の大学で、1年生から2年生まで各学期授業をしますが、教科書の選択がものすごくむずかしいです。

日本語専攻でないものですから、むずかしく教えると学生にはイヤがられるし、又、あまりかんたんですと何をしているのか分からず、困っていたところ、友達が持っていた『日本語教育通信』を知りました。これは私にとっても学生にとってもものすごくためになり参考になりました。

ある意味でむずかしい教科書よりもずっと勉強になり、

これからもぜひ授業の参考にしたいと思いますので、どうぞよろしくおねがいいたします。

(大韓民国 大田保健大学 李 福順)

●お手紙は編集部で要約・編集して掲載しました。

表紙エッセイプロフィール

土屋賢二 (つちや けんじ)

お茶の水女子大学文教育学部哲学科教授。東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程修了。著書は「ギリシア人の経験」「われ笑う、ゆえにわれあり」「われ大いに笑う、ゆえにわれ笑う」など多数。また週間文春でエッセイ「柵から哲学」を好評連載中。